



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社中央製作所
 コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-821-6166

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,045	19.6	71		61		49	
2019年3月期第3四半期	3,786	20.4	106		126		98	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 47百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 23百万円 (51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.59	
2019年3月期第3四半期	127.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,791	2,230	46.5
2019年3月期	5,398	2,297	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,230百万円 2019年3月期 2,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.9	25	89.6	30	88.6	20	90.4	25.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	784,300 株	2019年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	10,781 株	2019年3月期	10,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	773,680 株	2019年3月期3Q	773,955 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化などを背景に世界経済の減速が続き、加えて英国のEU離脱、中東情勢の不安定化なども加わり、依然として不透明感が払拭できない状況となりました。こうした状況から設備投資に対しても様子見や慎重な判断をする企業が多く見られました。

このような経済情勢の中で、当社グループは新規顧客の獲得、既存顧客への新価値提供のため新製品、新技術の開発に注力するとともに、競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、国内外の営業活動を積極的に展開し、需要の掘り起こしに注力してまいりましたが、国内外とも設備投資マインドが冷え込み、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は2,763百万円(前年同四半期比30.1%減)、売上高は3,045百万円(前年同四半期比19.6%減)となりました。損益については、営業損失71百万円(前年同四半期は営業利益106百万円)、経常損失61百万円(前年同四半期は経常利益126百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失49百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円)の計上となりました。

今後におきましては、米中貿易摩擦や中国経済の減速など外部環境の逆風を受けて厳しさは続くものの、人出不足やIoTを活用した合理化・省力化投資や設備の老朽化に対する更新投資などのニーズに対して積極的な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子業界等の様々なニーズにお応えしつつ、受注の確保に取り組んでまいりました。汎用電源では、高効率の電力変換を実現した新型直流電源装置を新たに市場へ投入するとともに小型パルス電源や極小容量などの特殊仕様へ対応した様々な注文にもお応えできるよう取り組んでまいりましたが、新規設備投資需要が大幅に減少し、受注高は978百万円(前年同四半期比16.2%減)、売上高は1,013百万円(前年同四半期比27.1%減)と大きく減少いたしました。

今後につきましては、多様な市場のニーズに応えるべく高効率の新型直流電源装置のラインアップの拡大と故障予知機能を搭載したデジタル制御装置の汎用電源への搭載ならびに専用電源への適用を進め積極的な提案営業をおこない受注拡大を目指してまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、新規及び更新需要の掘り起こしに注力しつつ、改造・修理・メンテナンス案件に対しても積極的に取り組んだものの、受注高は585百万円(前年同四半期比58.8%減)、売上高は992百万円(前年同四半期比17.4%減)と大きく減少いたしました。

今後につきましては、生産現場における省力化・省人化需要に対する積極的な技術提案を行い、更新・改造案件の掘り起こしを積極的に進めるとともに、新規設備需要に対しては停まらない装置をめざし、IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M(当社グループの商品名)の提案をより推進し受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内自動車業界、鋼製家具業界、電装機器業界、建設資材業界などを中心に、新規設備投資・更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。また、海外につきましても海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりましたが、受注高は506百万円(前年同四半期比22.8%減)、売上高は539百万円(前年同四半期比25.8%減)と大きく減少いたしました。

今後につきましては、自動車業界および鋼製家具業界の更新需要に注力するとともに、新製品の拡販と電装業界などの新市場開拓に取り組んでまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、積極的に販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は291百万円(前年同四半期比51.4%増)、売上高は226百万円(前年同四半期比21.3%増)と大きく増加いたしました。

今後につきましては、更なるコストダウンに取り組む安心して継続的にお使いいただけるよう取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.6%減少し3,836百万円となりました。これは、主として現金及び預金が133百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が595百万円、電子記録債権が212百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し954百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.2%減少し4,791百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.9%減少し2,066百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が186百万円、その他が287百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し495百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が25百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて17.4%減少し2,561百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し2,230百万円となりました。これは、主として利益剰余金が68百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2019年8月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,117	1,299,215
受取手形及び売掛金	1,750,548	1,154,705
電子記録債権	562,655	349,656
商品及び製品	59,982	56,264
仕掛品	784,981	799,022
原材料及び貯蔵品	94,344	139,736
その他	21,863	37,977
貸倒引当金	△650	-
流動資産合計	4,439,844	3,836,577
固定資産		
有形固定資産	280,216	279,380
無形固定資産	52,135	52,513
投資その他の資産	626,034	623,026
固定資産合計	958,387	954,920
資産合計	5,398,231	4,791,498
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,372	983,434
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	40,415	-
その他	630,189	342,646
流動負債合計	2,580,976	2,066,080
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,200	118,750
退職給付に係る負債	343,424	318,372
その他	60,244	57,947
固定負債合計	519,869	495,070
負債合計	3,100,845	2,561,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,424,475	1,355,931
自己株式	△15,724	△15,935
株主資本合計	2,137,337	2,068,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,660	157,471
為替換算調整勘定	6,387	4,293
その他の包括利益累計額合計	160,048	161,764
純資産合計	2,297,385	2,230,346
負債純資産合計	5,398,231	4,791,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,786,517	3,045,898
売上原価	2,884,705	2,412,642
売上総利益	901,811	633,255
販売費及び一般管理費	795,058	705,231
営業利益又は営業損失(△)	106,752	△71,975
営業外収益		
受取利息	463	703
受取配当金	7,652	8,281
持分法による投資利益	7,427	4,630
為替差益	574	-
その他	8,416	2,576
営業外収益合計	24,534	16,191
営業外費用		
支払利息	4,309	4,406
為替差損	-	268
その他	507	1,415
営業外費用合計	4,816	6,091
経常利益又は経常損失(△)	126,470	△61,875
特別利益		
固定資産売却益	8	10,529
特別利益合計	8	10,529
特別損失		
固定資産処分損	996	0
特別損失合計	996	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	125,481	△51,345
法人税、住民税及び事業税	1,393	1,878
法人税等調整額	25,234	△4,023
法人税等合計	26,627	△2,145
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,853	△49,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	98,853	△49,200

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,853	△49,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,975	3,810
為替換算調整勘定	△1,143	△2,093
その他の包括利益合計	△75,118	1,716
四半期包括利益	23,734	△47,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,734	△47,483
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	945,456	△33.3
表面処理装置	989,885	△18.9
電気溶接機	535,735	△25.6
環境機器	234,324	41.2
その他	312,949	△35.7
合計	3,018,351	△24.7

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	978,947	△16.2	316,542	△33.6
表面処理装置	585,022	△58.8	424,208	△58.0
電気溶接機	506,053	△22.8	94,216	△26.6
環境機器	291,697	51.4	82,487	57.7
その他	401,428	△22.2	356,413	△12.3
合計	2,763,148	△30.1	1,273,867	△38.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	1,013,316	△27.1
表面処理装置	992,806	△17.4
電気溶接機	539,920	△25.8
環境機器	226,705	21.3
その他	273,149	△2.4
合計	3,045,898	△19.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。